

公民館

通信

2025年
2・3月号
No.318

たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 ☎206-0025 多摩市永山 1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003
多摩市立関戸公民館 ☎206-0011 多摩市関戸 4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491

ひと♡ネットワーク



A知探Q

みんなでやる

教員自らが探究学習発表の場とし、テーマは自由。教員自身が好きなこと楽しいことを！と始めた講座は6年間で124講座。内容もダンス、プログラミング、麻雀等々と幅広い。お話を伺いながら気分はワクワク。講座名だけで興味津々になる。好きな内容だからこそ、授業は熱く真剣なのだろう。これが学びの楽しさだ。

そして2022年。探究学習として、多摩市をフィールドとした地域探究が始まった。1年生で探究基礎と多摩市について学習し、パルテノン大通りで「街なかプレゼンテーションテスト」を実施する。2年生では、商店街活性化、PR、スポーツイベント、条例策定、環境美化、公民館(参照2P)、高齢者支援、災害対策の8つのゼミに分かれて活動。市役所の担当課や地域の方々と協働しながら、

年内に何かしらの「実行」を目指していくという。

出身は府中。1985年生まれ。小学2年生男児のパパ。大学卒業後、民間企業にて7年間TV番組制作をした後、夢だった教員として大好きな母校に戻ってきた。未来を築く生徒たちがかわいい。女子バスケット部の顧問をし、専門の国語の授業ではカントを教材に思考実験をしていると笑う。さらに探究基幹教員として多摩市や外部団体と交渉。多摩市の協力に感謝の言葉を頂戴した。笑顔そして熱い眼差しと語り口に圧倒された、あっという間の取材だった。

多摩大学付属聖ヶ丘中学高等学校
探究基幹教員

いすおか ゆう
出岡 由宇 さん

タンキウ? キカン?? どんな漢字でしょうか? そんな素朴な質問から取材は始まった。2022年度に高校教育課程が激変、「探究学習」が必修化された。より良い社会を実現できるよう、生徒自らが課題を見つけ、解決する力を育むことを目的とするという。

どう取り組みればよいか? 必修化に当たり、教員同士で徹底的に話し合いをした。日常のあらゆることに学びはある。教員も学校も変わらなきゃ。魅力ある学校作りを! そして2018年、「英知探究」ならぬ「A知探Qの夏」が始まった。それまで夏期講習だった夏休み4日間を、

多摩市の公民館は、多摩大学聖ヶ丘高校の探求授業「公民館ゼミ」の活動に協力しています！

今回は、学業や課外活動等で忙しい合間を縫って、生徒の皆さまに記事を作成していただきました。

私達は多摩大学聖ヶ丘高校の探究授業で作られた“**公民館ゼミ**”です！

テーマ

ベルブ永山を拠点として、たくさんの年代の人たちに公民館を知ってもらい利用してもらおうということをテーマに活性化を目指しています！



今回は一年間のゼミ活動の中で、一番印象に残っている“こどもまつり”についてご説明させていただきます。

永山公民館の5F ベルブホール、8月に開催しました。ゼミ活動の初期は自分たちで一からイベントを開催するというのが目標でした。公民館職員の方と打ち合わせをさせていただいた際に、とりあえずやってみて失敗したら改善して、次またイベントを開こうという事になりました。

若者に知ってもらいたいという意味を込めて小学生限定で夏祭りを開きました。バスケットボール玉入れ、公民館クイズ、デジタルゲームをしました。中でも人気だったのはデジタルゲームでした。映画館のような大きなスクリーンにゲームの画面を映しだしました。小学生はとても笑顔で遊んでいました。

スクリーンに映し出すというのは一度関戸公民館の方で実践されていたので、アドバイスを頂き、進めやすかったです。

自分達より先に面白いことを考えていたという

驚きと若干の悔しさもありましたが、公民館の皆さんの熱意が一番伝わりました。

公民館は伝わりづらいジャンルであるのにも関わらず、現状に真剣に取り組む姿勢に感銘を受けました。この“こどもまつり”で様々な人と関わることをきっかけにゼミの活動にはもちろん、人間性の部分でも成長できました。

また、公民館と市民の繋がりを感覚ではなく直接肌で感じる事ができました。来年は後輩たちが引き継いで活動することになるので、更なる公民館の活性化を目指して活動していきたいと思います。



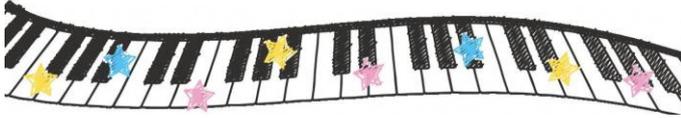
12月のボランティア活動で踊っていたゼミ長です♪



やわらか音楽講座 ～ピアノで巡る音楽の旅～

第1回動物編

2024/9/7 風呂本 佳苗先生



公民館主催の音楽講座があると言う。2年前にも『ピアノで巡る季節の旅』が開催され、今回は動物にちなんだ曲が集められるとか。面白そう！講師の風呂本先生は NHK カルチャー特別講座の講師やラジオ出演、音楽祭と幅広く活躍され、しかも私と同じ兵庫県西宮市ご出身なのだ。

いよいよ講座が始まった。たくさんの動物が登場する。ライオンは半音階でうなり声を表現し、亀の左手伴奏はなんと、運動会の定番曲。クジャク、クマ、象、蛇。わらべうた、ショパン、岩手県の民謡が飛び出したりと、実に幅広く面白い。証城寺

の狸囃子がジャズバージョンに！ねこふんじゃったは、流れる、はずむ、ささやく、いろんな曲調が流れる。

曲にまつわる社会的背景や作曲家の人生、当時の歴史、文化を1曲1曲、聞いてから演奏を聴く。すると情景が目の前に広がるのだ。この人は自意識過剰で、おふざけパロディー曲を作ったがふざけたくないので演奏するなどといったとか、この2人は教会のオルガニスト、これは怪盗ファントムとクルーゾー警部のドタバタ劇だとか、穏やかな語り口とは裏腹に、当時のぶっ飛んだ歴史、文化などが紹介されていく。次回は12月7日のクリスマス編と、2月にもある。今から楽しみに待ち望んでいる。

(楽)



文庫連会員がお勧めする本

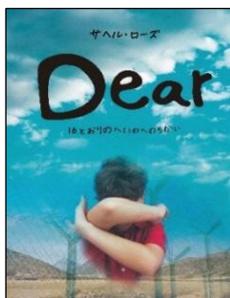
『せんそうしない』



たにかわ しゅんたろう ぶん えがしら みちこ え 講談社 2015年
読み終えてしばらく目を閉じました。優しい言葉と色彩がお互いを尊重しつつも個性を醸し出す一冊でした。テーマはとても重いものです。今この時も地球上では戦争が続いています。でも、作者は語り続けます。「せんそうしない」「ちょうちよとちょうちよはせんそうしない」と。魚や鳥やお花植物、身近にあるものを通して戦争の無意味さと平和の大切さを静かにうたいあげています。平和はいのちの伝承ではないかと思わされた絵本でした。

多摩市文庫連絡協議会 NPOあいファーム いきがい文庫 高橋和彦

『Dear 16とおりのへいわへのちかい』



サヘル・ローズ[編]著 イマジネーション・プラス 2024年
サヘルさんは2022年多摩市平和展で講演された人です。イランで生まれ大変な生活を経験している彼女は難民キャンプを訪問して祖国を逃れてきた人たちとの交流を続け、難民の人たちの事を知ってほしいと、託された絵や手紙を基にこの本を出しました。「靴があれば」「自分の名前があるのにいつも難民と呼ばれる」「国の偉い椅子に座ってる大人に戦場を歩かせたい。生き残った人の辛い痛みをしてほしい」等々。

いま難民は1億2000万人、なんと日本の人口と同じです。(国連難民高等弁務官事務所調査2024年5月)。難民の人たちの赤裸々な気持ち、平和への願いをしっかり受け止めなければと強く思います。

多摩市文庫連協議会 鈴木久美子

幸せを呼ぶ4ヨコ - 永山の楽ちゃん -

1) 今年もズバリと4ヨコが店頭にあつ。とびきり変わりタネ。見つけたよ

2) 宇宙模様の幻想的なやつ。
 ボール模様。

3) 納豆パックや しょうゆ型 飴 カルキュレーター 剣 乗り物型 パンの形 ばらの花びら 葉っぱ タバコ型... スライム...

4) 他にもネーミングの妙が...
にゃんともぶいしい4ヨコ。
せしもぶいしい4ヨコ。
ネコの古めたいな4ヨコ。
パズル・シヨクラ。
キャラパキ(割る!!)

5) かいソウ。ゴリラ。ネコ。ハンマーがういて4ヨコをたにき割った。中から恐竜が現れる花振4ヨコ。

6) さあ、今年もこのあふれる愛を誰と誰と誰に伝えようか

コラム え・さ・せ・と・ら

青年海外協力隊員として太平洋に浮かぶ小さな島国・パラオの小学校に派遣されて1年6カ月。今回は、新年行事「オメデトウ」についてお伝えしたい。

第二次世界大戦以前には日本が統治していた国、パラオ。そのためパラオには今もたくさんの日本語が残っている。「ベンジョ」「センセイ」「ヤサイ」など。さらに、新年をお祝いする言葉として「オメデトウ」。大晦日の夜、パラオで唯一「オメデトウ」のイベントを行っている首都マルキョク州に行ってみた。年越しが近づくと、



たくさんの人たちが集落の一番端っこの家の前に集まってきて、カウントダウン。「スリー、ツー、ワン...オメデトウ!!!」年越しと共に、大音響の爆竹や車のクラクションが鳴り響く。そして、子ども達が「オメデトウ」と叫びながら練り歩くと、なんと各家からお菓子が投げられる。

パトカーが先導する中、深夜0時に始まった「オメデトウ」イベント。集落の家々も、お菓子を用意して家の前でスタンバイしてくれている。「オメデトウ」の掛け声と共に、投げられるお菓子。それを必死に集める子ども達。そして、鳴り響く爆竹とクラクション。(ちなみに爆竹は「ハナビ。’)集落の端から端まで、なんと午前2時まで続いた。

ハロウィンとお正月が混ざったような不思議なイベント「オメデトウ」。ただ、日本語で新年を祝い合うパラオの文化に心がほっこり温かくなった。そして、元日はパラオ人とともにオシルコをいただいたのであった。(ニーチェ)

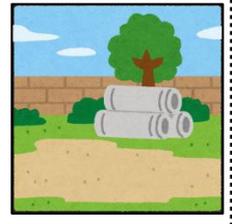


Alii!!南の島パラオから「こんにちは」

編集後記



たぬきじゃないよ
のび太くん
ずかちゃんに
いつけちゃうぞ
るで「たぬき」
ちがうよ、ネコだよ!!!



☆歌仲間から「Pレディー踊ってー。相方が入院しちゃって」「いいよ!」それがなんと、れっきとしたライブハウスのコーラスもやってー!」夢かまことか。こうして私の音楽活動が始まった。(楽)

☆2025年になった。21世紀も4分の1が終わったと考えると少しセンチな気持ちになるとともに、2050年はどうな社会になっているのだろうか、今から楽しみ。(ふ)

☆2025年で30歳となる私。いつまでも心の中は子どものままだが、身体は年齢相応(むしろそれ以上)。年末年始でなまった体に鞭を打ちながら頑張ろう...。(や)

☆今回の取材、探究学習という言葉を知った。聞けば聞くほど興味湧く。(月)

高校生と授業を受けてみたい。(や)



↑カラー版はこちら

「たのしいまち」うた みなさまもチャレンジしてみてくださいね。楽しい作品、お待ちしております。